

製材会社がコミュニケーション インフラストラクチャを構築

Great Southern Wood Preserving がシスコ パートナーである TekLinks 提供のシスコ ユニファイド コミュニケーションとシスコ ワイヤレス ネットワークを使用して拠点を統合

概要
<p>GREAT SOUTHERN WOOD PRESERVING, INC.</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設/建築資材 米国アラバマ州アプビル 従業員数 : 790 人
<p>ビジネス上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的で強化された電話システム機能を提供することで、離れたオフィスや工場とのコミュニケーション機能を向上させる 手頃な価格のビデオ会議ソリューションを実装する
<p>ネットワーク ソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニファイド コミュニケーションおよび将来のアプリケーションをサポートする最新のネットワーク基盤 在庫処理を強化するワイヤレス ネットワーク ソリューションの展開
<p>ビジネス上の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所や施設ごとに異なっていた電話番号を 4 桁に統一することによって生産性を向上 既存のネットワークを拡張して、ワイヤレス メッシュ ネットワークやビデオ会議といった新しいアプリケーションを追加することが容易 IT スタッフが解放され、戦略的プロジェクトに専念できる

ビジネス上の課題

Great Southern Wood Preserving, Inc. は、加圧処理された各種木材製品を製造しているほか、合成デッキ材などの建築資材の販売も行っています。アラバマ州アプビルに本拠を置き、米国南部一帯にオフィスと工場を展開しています。市場の大手プロバイダーであるにもかかわらず、790 人の従業員は、現在では当たり前とされている機能さえ備わっていない、さまざまな種類の旧式電話システムを使っていました。

「多くの中規模企業がそうであるように、弊社も小さな会社から発展し、それと同時にネットワークや電話のシステムの規模を拡大してきました。」と Great Southern Wood の IT ディレクターである Chris Godwin 氏は言います。「標準化を行っていなかったため、IT スタッフはネットワークや異なる電話システムのトラブルシューティングに多くの時間を割いていました。」

Great Southern Wood は 4 つの州に 7 つの工場を持っていますが、すべてのオフィスと工場異なる電話システムが使用されていたため、電話はコミュニケーションを助けるというよりも、むしろ妨げる存在となっていました。従業員の生産性を向上させる、近代的なコミュニケーション機能を備えたソリューションの必要性から、Godwin 氏は電話システムを含むネットワーク インフラストラクチャ全体の更新に向けた調査を始めました。また、広範囲にわたるさまざまなオフィスや工場に対応するため、ビデオ会議の導入についても併せて検討を進めました。

Godwin 氏は地域のシスコ オフィスを通じて、同州バーミングハムを拠点とするシスコ ゴールド認定パートナーの TekLinks を知りました。Cisco SMB セレクト パートナーでもある TekLinks は、創業以来、地元の中堅・中小規模の企業を中心に業務を行っており、IP テクノロジーと IP コミュニケーションに関する確かな専門知識を有しています。

「弊社のお客様は従業員 1000 人以下の企業が大半です。」と TekLinks のコーポレート アカウント マネージャーである Doug Pass 氏は言います。「これまでに、セミナー、DM、リードジェネレーション イベントなど、実に効果的な共同マーケティングをシスコとともに実施し

できました。これらはいずれも SMB のコミュニティを増やすことに役立っています。現在 TekLinks は、ネットワーク インフラストラクチャと IP テクノロジーの『頼れる』パートナーとしてアラバマ州で知られています。』

ネットワーク ソリューション

TekLinks の上級システム エンジニアである Jeremy Sanders 氏は、Godwin 氏率いる Great Southern Wood の IT チームと会った際に、彼らが自分たちのやりたいことについて優れた案を持っていることに気付きました。それは、現在および未来のテクノロジー ニーズをサポートすると同時に、ワイヤレスやビデオ会議といった新機能にも対応可能なネットワーク インフラストラクチャを構築する、というものでした。Great Southern Wood がネットワークを自社で管理できるということも重要でした。



まず TekLinks は、既存のテクノロジーを評価し、新しいソリューションをサポートするためにどのようなアップグレードが必要かを判断するために、高レベルの全社的ネットワーク分析を開始しました。

TekLinks のチームは、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unity、および Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) を含む、ベスト プラクティスのシスコユニファイド コミュニケーション ソリューションを提案しました。ネットワーク インフラストラクチャに必要な処理能力は、新しい Cisco Catalyst スイッチによって提供されます。このソリューションは、信頼性とスケーラビリティを備えた管理の容易なネットワークを提供するように設計されていました。Great Southern Wood の経営陣を説得するのに、たいして時間はかかりませんでした。

「ネットワーク全体とコミュニケーション ソリューションの管理が容易になることは大きな改善です。そのメリットははかりしれません。従業員の移動、追加、変更は実に容易で、そのような時間の節約は企業にとってはコストの節約になります。シスコで標準化することによって、ようやく社内の全員に標準化された機能を提供できるようになりました。」

- Great Southern Wood、IT ディレクター、Chris Godwin 氏

「最終決定においては、シスコによる強力なサポートが大きな要因となりました。」と Godwin 氏は言います。「シスコ ソリューションのスケラビリティとパフォーマンスは、他より優れています。このソリューションは管理が容易なので時間も大幅に節約できることでしょう。」たとえば、移動・追加・変更に関し Godwin 氏のチームが要していた時間は、より戦略的なプロジェクトに振り分けることができ、コストの節約と IT 生産性の向上につながります。さらに、スタンドアロンのビデオ会議ソリューションはかなり高額でしたが、シスコ ユニファイド コミュニケーションによるビデオ会議のサポートを検討すると、IP コミュニケーションの展開コストが実際には削減されることがわかりました。

Pass 氏によると、それぞれが固有の接続性とネットワーク要件を持つ 8 つのサイトでの実装を考えると、全体的な展開は非常にスムーズに進んだということです。短期で全社に展開して小規模な IT スタッフの負担を重くするよりも、Godwin 氏は半年がかりですべてのサイトを段階的に展開していくという方法を選びました。TekLinks は IP コミュニケーション テクノロジーの専門知識を活かして、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムと従来の電話システムを統合しました。TekLinks のネットワーク分析は各サイトの詳細なレベルにわたって行われ、各展開から得た教訓は、次の展開に適用されました。

「導入期間中、ユーザにネットワークや電話システムのダウンタイムで不便をかけることはありませんでした。」と Great Southern Wood のネットワーク管理者である Jason Lawler 氏は言います。「すごいことですよ。これも TekLinksのおかげです。移行はとても容易でした。」アナログ電話から Cisco Unified IP Phone への切り替えの際には、本社ビルの受付係とその他の事務系社員に対する研修が実施されました。また、各工場におよそ 30 人ずついる他の社員に対しても Cisco Unified IP Phone が提供され、Godwin 氏とそのチームが電話のかけ方やボイスメールの設定のしかたについて説明を行うことになりました。最終的には 350 台以上の Cisco Unified IP Phone 7940G が導入されました。

導入は大成功を収め、Great Southern Wood はワイヤレス機能をすぐに活用することにしました。TekLinks は Cisco Aironet 1510 Lightweight 屋外メッシュ アクセス ポイントを含むシスコのワイヤレス ネットワーク ソリューションを設計および展開し、倉庫や流通サイトでの在庫管理や製品移動の改善に一役買いました。

ビジネス上の効果

シスコ ユニファイド コミュニケーションは、今では Great Southern Wood の全サイトに展開され、会社の倉庫では Cisco Unified Wireless Network が稼働しています。Godwin 氏は、シスコ ソリューションのスケラビリティとパフォーマンスが他より優れていることを確信しています。Godwin 氏によると、IP フォンは非常に明瞭で使いやすく、社内通話やダイヤルイン機能のコスト削減につながっているということです。

製品一覧
シスコ ユニファイド コミュニケーション サービスには以下の製品が含まれます。
<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager • Cisco Unity • Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) • Cisco Catalyst 3550 および 3560 • Cisco Unified IP Phone 7940G および Cisco Unified IP Conference Station 7936 • Cisco Aironet 1510 Lightweight 屋外メッシュ アクセス ポイント

「電話番号を 4 桁にすることによって時間が節約され、会社に一体感が出ています。」と Godwin 氏は言います。「はるか遠くの州にいる従業員でも、4 桁番号を使うことで、同じビル内にいるかのように感じられるのです。」従業員が最も歓迎しているのは、Cisco Unity によるボイスメールと電子メールの統合だということです。なかでも、メッセージ転送やコメント追加が容易に行える点が評価されているようです。Cisco Unified IP Phone のモビリティ機能も同様に重宝されている

ます。他のサイトで作業しなければならない場合でも、従業員は自分の電話を持参して電源を入れるだけで通常どおりに使用できます。Cisco Unified IP Phone によってネットワークが検出され、電話には従業員各自の内線番号や設定が登録されているので、IT 部門の手をわずらわせることはありません。

「ネットワーク全体とコミュニケーション ソリューションの管理が容易になることは大きな改善です。そのメリットははかりしれません。」と Godwin 氏は言います。「従業員の移動、追加、変更は実に容易で、そのような時間の節約は企業にとってはコストの節約になります。シスコで標準化することによって、ようやく社内の全員に標準化された機能を提供できるようになりました。」

Godwin 氏にとって、展開で最も感慨を覚えたのは、Great Southern Wood がネットワークを所有できるようになったことでした。

「Great Southern Wood は、自社で管理できるネットワークを求めていました。そしてシスコのテクノロジーがそれを実現しました。」と Pass 氏は言います。「トレーニングと研修は彼ら自身で行われ、高レベルのサポートのみを弊社が提供します。パートナーとお客様の理想的な関係です。」

関連情報

シスコ ユニファイド コミュニケーションとシスコ ワイヤレス ネットワークの詳細：
<http://www.cisco.com/jp>

シスコのパートナーである TekLinks の詳細：<http://www.teklinks.com>

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
お問い合わせ先 (シスコ コンタクト センター)
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>
0120-933-122 (通話料無料), 03-6670-2992 (携帯電話, PHS)
電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00

お問い合わせ先